

第 44 回全国育樹祭 基本方針（概要版）

（前文）

- 【北海道での開催理由】全国育樹祭の開催目的は道が進める「木育」の理念に合致し取組を加速
- 【開催年（H32）の状況】東京オリパラの開催年でもあり木の良さや価値を発信する絶好の機会
- 【基本方針の策定意義】全国育樹祭を円滑に進めるために基本的な事項を定める

I 開催方針

1 北海道での全国植樹祭・全国育樹祭の開催状況

（1）第 12 回全国植樹祭（S36）、（2）第 11 回全国育樹祭（S62）、（3）第 58 回全国植樹祭（H19）

2 開催の基本的考え方（理念）

北海道で生まれた木育の取組を加速させ、道民一人ひとりに浸透し、道民運動として定着していくこと、そして全国へ取組の輪を広げていくため、開催前は木と触れ合う機会を創出し、開催後も全道各地で育樹活動等が継続される契機となる大会となることを目指す。

基本理念 「森を育て、木とふれあい、豊かな心を育む」

3 開催コンセプト

森林がもたらす恩恵や木の持つ優しさ・温もりを体感できる取組を進め、次世代に引き継ぐ

コンセプト 森や木とふれあいながら、木の温もりを体感し、森を育てて次世代に継承する

4 大会テーマ、 5 シンボルマーク、 6 ポスター原画 → 平成 30 年度中に公募・選定

II 開催概要

1 全国育樹祭行事

区 分	開 催 日	会 場	参加人員	対応方法等
(1) 式典行事	平成 32 年秋期 (決定・公表 H32. 1)	北海道立総合体育センター (北海きたえーる)	5,000 人	皇族殿下のお言葉等 仮設物は道産材を活用
(2) お手入れ行事	式典行事の前日	苫小牧市字静川 (全国植樹祭開催地)	—	パネル展示等御覧、 枝打ち等のお手入れ
(3) 育樹行事等	式典行事の 約 1 ヶ月前	同上(メイン会場) 道内各圏域分散設定	—	開催状況を録画して式典 等で放映
(4) 懇 談 会	式典行事の前日	未 定	—	皇族殿下の御臨席を仰 ぎ、大会関係者を招待

2 併催行事等

区 分	開 催 日	会 場	参加人員	内 容 等
(1) 併催行事 育林技術交流集会	式典行事の前日	式典会場 近隣地域	500 人	基調講演、パネルディス カッション
全国緑の少年団活動発表大会	式典行事の前日	式典会場 近隣地域	500 人	緑の少年団による活動発 表、各種表彰
(2) 記念行事 森林・林業・環境機械展示実演会	式典行事の当日 及び翌日	式典会場 近隣地域	5,000 人	高性能林業機械等の展示 実演
国民参加の森林づくりシンポジウム	平成 31 年秋期	未 定	500 人	基調講演、パネルディス カッション
その他記念行事	—	—	—	市町村や関係団体等が実 施する関連イベント

III 運営方針

1 運営体制

区 分	内 容
(1)実行委員会の設置	平成 30 年度に「第 44 回全国育樹祭北海道実行委員会」を設置
(2)実施本部の設置	平成 32 年度に「第 44 回全国育樹祭北海道実施本部」を設置
(3)緊急対応	荒天時のお手入れ行事実施判断や非常事態に対応するための体制整備

2 輸送・宿泊等

区 分	内 容
(1)輸 送	借上車両（バス等）及び指定業務車両による輸送
(2)駐車場	式典会場等周辺に借上車両等用の駐車場を確保
(3)宿 泊	道外参加者等の必要な宿泊施設を確保

3 式典参加者

式典参加者の選定方法、式典参加者の区分

4 その他

警衛・警護、救護・衛生、消防・防災、環境整備、特産品等展示・販売、記念品等

IV 広報・協賛

1 基本方針

開催機運を醸成し、育樹祭終了後も道民が開催意義を継承して日頃から木を使う意識が根付くよう広報活動を実施

2 広報・PR

各種イベントと連携や、広報媒体による普及啓発の実施

3 記録

記録誌や DVD を制作

4 協賛

物品、役務及び金銭の提供、広報・PR への協力等の協賛を検討し募集

V 開催準備スケジュール

時 期	準 備 内 容
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none">● 第 44 回全国育樹祭北海道実行委員会の設置● 大会テーマ、シンボルマーク、ポスター原画の決定● 基本計画の策定
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none">● プレイベント(国民参加の森林づくりシンポジウム)の開催● 開催日程の決定・公表● 実施計画の策定
平成 32 年度	<ul style="list-style-type: none">● 第 44 回全国育樹祭北海道実施本部の設置● リハーサル等の開催準備、併催行事・記念行事の開催● 第 44 回全国育樹祭の開催